

4-1-12-6 中央採血室

概要

中央採血室は、総合診療部、看護部、臨床検査部の3部門で業務している。

主な業務内容として、採血（乳幼児、幼児、学童、妊婦等）、採血介助、採尿、採便等の案内や病棟用採血管の準備がある。なかでも、採血患者数は19年度では30,295人を数え、乳幼児・幼児は8,140人（26.9%）であった。

6歳未満の対象患者は体動が激しく、また協力も得られないことが多く採血は難しい。下図にも示したが介助者なしでは困難であり（時に3人以上の介助者を必要とする）、採血技術には特段の練度が要求される。

採血実績（平成19年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
採血患者総数	2,228	2,269	2,388	2,884	2,929	2,259	2,649	2,584	2,562	2,469	2,413	2,661	30,295	
3歳未満	364	400	422	402	373	444	433	415	373	442	409	375	4,852	16.0
3歳~6歳未満	253	284	277	257	299	267	287	265	267	286	284	262	3,288	10.9
6歳以上	1,611	1,585	1,689	2,225	2,257	1,548	1,929	1,904	1,922	1,741	1,720	2,024	22,155	73.1

(人) (%)

年齢別採血患者数と介助者の役割（7月実績から）

